

UENO JYUKEN

UENO JYUKEN FLOOR CATALOG

**FLOOR**  
CATALOG  
UENO JYUKEN

# UENO JYUKEN

Floor Catalog Book

- 1 はじめに
- 2 ARCHITECT INTERVIEW
- 2 - Case.1 時間と共に変化する自然素材 手塚貴晴 加藤横一
- 6 - Case.2 建築の品格と美 城戸崎博孝
- 10 - Case.3 建築家の床材考 東海林健
- 14 - Case.4 空間のスタイリングと建材選び 高津久嗣
- 18 - Case.5 建築デザインにおける床材の役割 小島光晴
- 21 取扱商品一覧
- 22 素材・性質から床材を選ぶ
- 24 Admonter アドモント
- 26 - Admonter - Oak オーク
- 34 - Admonter - Hard Wood ハードウッド(広葉樹)
- 40 - Admonter - Soft Wood ソフトウッド(針葉樹)
- 43 - Admonter - Admonter Selection アドモントセレクション
- 44 Ueno Original Floor オリジナルフロア
- 46 - Ueno Original Floor - Solid ソリッド
- 50 - Ueno Original Floor - Plywood プライウッド
- 56 Siljan Pine シリアンパイン
- 60 Bordeaux Pine ポルドーパイン
- 62 Nordic Pine ノルディックパイン
- 63 Bruce ブルース

## はじめに

住宅は、屋根や壁、窓など様々な要素で構成されています。床はその中のひとつに過ぎません。しかし、私たちはその床こそが人の生活においてとても重要な役割を担うと考えています。なぜなら床は、住宅の中で人が最も多く触れる面であり、コミュニケーションをとる場だからです。

UEENOは30年に渡って一貫して木の質感にこだわった商品を世界中より集め、お届けしてきました。ここで紹介している床材は良質で、住む人と共に時を重ね永く使っていただけるものばかりです。

このフロアカタログでは建築のプロフェッショナルの床に対する考え方やこだわりがわかる読み物、木の特徴や実際の空間事例など、床材選びのヒントを掲載しています。

それぞれの住まいに合った床材選びをしてもらうために、プロの皆さまとお施主さまとのイメージ共有のツールとしてご活用いただければ幸いです。

UEENOが扱う個性豊かな床材の中から、あなたにぴったりの床材が見つかることを願っています。



# ARCHITECT INTERVIEW

Takaharu Tezuka

Case.1

## 時間と共に変化する自然素材

床は人が必ず触れる基本的なエレメント。  
一緒に歳をとってくれる“本物の床材”がいいなと思います。



手塚建築研究所  
手塚貴晴  
Takaharu Tezuka

建築デザインにおける床の役割を、手塚先生はどのようにお考えでしょうか。

| 最近の物件ではポルドーバインを使っていただきました。

「ポルドーバインは節があつていいですよね。それが自然のあり方ですから。むしろ幅広の厚みがとれるのは節があるからですよ。節を許容すればこんなに立派な床材を入れられるのかと思いました。別の話になりますが、以前南三陸のプロジェクトで400年の杉を使う機会がありました。イギリスのリチャード・ロジャース・パートナーシップ・ロンドンに勤務のあと、1994年に帰国し、パートナーである手塚由比とともに、都内に手塚建築研究所を設立。

建築家、手塚建築研究所代表、東京都市大学教授。  
1964年、東京都に生まれる。1987年武蔵工業大学建築学科を卒業後に渡米し、1990年ペンシルバニア大学大学院を修了。イギリスのリチャード・ロジャース・パートナーシップ・ロンドンに勤務のあと、1994年に帰国し、パートナーである手塚由比とともに、都内に手塚建築研究所を設立。

外部環境と一体化した空間設計を得意とし、住宅から公共建築まで広く手がける。特に、OECD(世界経済協力機構)が世界で最も優れた学校に選んだ「ふじようちえん」など、子供のための空間設計で世界的に高い評価を受ける。

代表作は「ふじようちえん」の他、屋根の上で生活が展開する「屋根の家」や、深さ5メートルの雪の下に埋もれる自然科学館「森の学校キヨロッコ」、津波で塩枯れしたお寺の巨木を使った「あさひようちえん」、沖縄の自然と溶け合った空間を提供する不妊治療施設「空の森クリニック」、折り紙のような形がつくる強さを利用した木構造の「富岡商工会議所」など。

国内外の受賞歴に、日本建築学会賞(作品)(2008年 ふじようちえん)、日本建築家協会賞(2008年 ふじようちえん)、グッドデザイン金賞(2013年 あさひ幼稚園)、日本建築家協会優秀建築賞(2015年 空の森クリニック) WAF 2018 Winner School-Completed Buildings(muku nursery,2018)など多数。

「ふじようちえん」でご採用いただいたシリアンパインフロアはもちろんですが、手塚先生は常に経年変化を意識して床材を検討されていると思うのですが。

「ありますけど、床材は最後まで踏みとどまるところです。絶対に張り物は使わない。ビニールの木調の床なんか絶対に嫌ですね。あと表層が1mmの床は使いません。傷がついたときに下が見えないように、5mmは欲しいな(笑) べらべらの張り物の床と本物の木の床って全然違うんですね。隙間があるとなかろうとそんなのは関係なく、本物と偽物では断然の違いがある。本物はくたびれたら味が出るし、そういう意味で歳と一緒にとってくれるっていうのはいいなと思いますね。それを上手く出していくっていうのはすごく大事なんですね。」

[ ふじようちえん ] シリアンパインフロア | ふじようちえん | 手塚建築研究所 | Photo : 木田勝久 / FOTOTECA



Case.1

## 時間と共に変化する自然素材

学校法人みんなのひろば理事長  
ふじようちえん園長

加藤積一

Sekiichi Kato

「ふじようちえん」のフロアにシリアンパインフロアを採用していただきました。竣工から11年が経過しましたが、床の変化、使い心地はいかがですか。

「当時は白かったですよね。できたてはやほやの状態で。今はだいぶ色が変化しました。でも木が時間とともに変化をするのは当たり前ですから。木の経年変化を「経年美化」ととらえる人と、汚いなと思う人というと思うんですけど、日本は経年美化を理解できる文化だと思います。手塚さんの建物ってだいたいそうなんじゃないかな。作ったときもいいけれど、だんだん空気と一緒にあって馴染んでいくっていう。この幼稚園は建物と文化が合っている。それがよかったなと思っていますよ。」

子どもたちにとって、変化する自然の素材と触れあうことで、何か得るものがあるのでしょうか。

「汚れや反り、歪みって、自然の木はあって当たり前だから。それを子どもたちが裸足で踏んでいるわけですよ。例えばとげなんかも。今はそれを自宅でなかなか体験できないんですね。家に置がない家庭も多いですし。自然のものが少し不便だったとしても、不便による利益、「不利益」というのが逆にあると思うんですよね。子どもたちが何の負荷も与えられずに育っていくのは、

シリアンパインフロア 現在の様子（2018年）| ふじようちえん | 手塚建築研究所

経年劣化ではない。  
日本は「経年美化」を  
理解できる文化。

むしろ不利益。やっぱり本物と付き合わないと。表が綺麗でも裏では化学物質が出てくるみたいな素材も世の中にはあるでしょう。あと、自然の木には微妙な変化がありますよね。それを嫌う人もいるけれど、物事はマイナスで見るかプラスで見るかですから。自然の木の上で裸足で生活すると土踏まずちゃんとできるし、健康にもつながると思うんですよ。」

素材の特性が、子どもたちの成長に一役買っている部分もあるということですね。

「自然素材を使うことに負の側面があったとしても、それと上手に付き合っていくために、使い方を工夫することで子どもが育つというのもありますよね。完璧なマテリアルなんてないから。全部が育つための道具なんです。その点で自然素材を足の裏で感じてもらう、このパインの柔らかさを感じてもらう、それが大事なんです。それに、いいものはずっと使えるんですよね。この床材は新品のときもよかったですけど、今は落ち着いてまたそれはそれでいいですね。居心地がいいですよ。」



要素を精査して、ディテイールに細心の注意を払うこと。



## ARCHITECT INTERVIEW

Hirotaka Kidosaki

[離山の家]

アドモントオーク節なしホワイト | 畦山の家 |  
城戸崎建築研究室 | 施工会社: 株式会社新津組

6

Case.2

### 建築の品格と美



城戸崎先生の作品は常に品格を感じるのですが、デザインにおける方法論や方針のようなものを教えていただけないでしょうか。

私の場合は、まず建築の要素を精査して、整理して、なるべく少ない要素の下でデザインをしていく。それが基本的な設計姿勢です。特にやり方としては、5mmと10mmにこだわること。例えばスイッチプレートひとつにしても既成の物を使わないで、5mmと10mmのスケールにこだわってデザインしたものを使っています。そうやってディティールを突き詰めていくと、その積み重ねで建物が光ってくる。建物に品格が出てくる。さらに年が経つと、それが風格に変わっていきます。

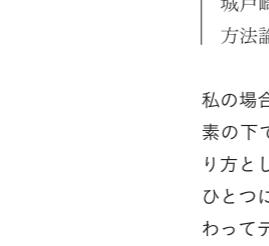
どこかいう一部分ではなく、建物全体の雰囲気が語りかけてくるような気がします。

私の建物というのは、「すっきりして清々しくよかった」、「どこがいいのかは分からなければなんとなくよかった」という感想を持たれますが、そういった印象なのは、私の設計が正解だったということです。むしろ「あの部分が好きだった」という部分的な表現をされたらダメ。寸法的にはとにかく5mmと10mmをすべてに徹底する。それがベースなのです。私の設計は、バッと見ると他のスケールがそこに見えっこない。

同じやり方をずっと突き詰めているということなのですね。

建築家だから挑戦的に新しいことをやりたくなるけれど、私はとにかく同じものを深く突き詰めています。いろんなことをするより、同じことを突き詰めた方が深いから。徹底してやると、建物が美しく語りかけてくる。気品が出てくる。すべてそう。その空間が輝かないはずがない。

その中で、弊社のアドモントフロアを採用していただくのには、やはり理由があると思うのですが。



城戸崎建築研究室

城戸崎博孝

Hirotaka Kidosaki

1942 東京都生まれ  
1966 日本大学理工学部建築学科  
1966-1979 松田平田 設計事務所  
1977 英国シェフィールド大学修士課程  
1979-1993 丹下健三・都市・建築設計研究所  
1993-2005 アーキテクトファイブ  
2000 城戸崎建築研究室

受賞歴

[離山の家]  
日本建築家協会優秀建築選 2010 選定  
2011 ASIA PACIFIC PROPERTY AWARDS  
"highly commended" 受賞  
[八ヶ岳の家]  
2014 年 Modern Living BEST6 賞 受賞  
2014 年度 10 周年 Modern Living 大賞 受賞  
Archidaily 2014 BestArchitecture20 選出  
Archilovers 2014 Best30 選出  
日本建築家協会優秀建築選 2014 選定  
日本建築学会作品選集 2016  
2018 年 グッドデザイン賞受賞

UENOさんのアドモントフロアは節が少なくて面が美しいから、それが好きです。単板の上が4mmと厚い。幅広なのもいい。目地をVカットしても側面が綺麗に見えるから安心で、上だけじゃなく下の部分も同材のオークでサンドイッチしているから何の問題もない。素晴らしい材料です。施主によく言うのは、「いいもので安いものというのではない。いいものはそれなりの価格ですが、出せるのであればいいものを使った方がいいですよ」ということです。

施工すると二度と見えない下の部分にもよい素材を使っているというのは、アドモントフロアの特徴でもあります。

以前、日本画の平山郁夫先生のアトリエを設計していたとき、お部屋で先生が下絵を描かれるところを拝見したことがあります。大きな駱駝の絵を描くときに足下に岩を描かれていたのですが、次に見たときそこが砂漠になっている。「岩をやめて砂漠にされたのですか」とお聞きしたら、そうではない。砂漠の下にちゃんと岩を描いてそれから砂を描くと、駱駝の足の角度が違うんだと。絵を描くにはそこまでやらないといけない、下からちゃんと積み上げていかないとダメなんだということを仰った。それは UENOさんのアドモントフロアにも共通することなんですよ。見えない部分もきちんとしているところに、本物の床のよさがある。平山先生が描く絵と同じ精神がある。そこに私は目をつけたのです。

そうだったんですね。大変光栄なお話です。

なので、可能な限りアドモントフロアを使いたいと思っています。色も綺麗です。もちろん、分からない人もいますが、見えないところにお金をかけるということには理由があると。でも私の設計には合うのです。面が美しいし、空間を邪魔せず、綺麗にスッと納まる。建物も人間と同じで年とともに熟成していくから、UENOさんの床のような本物の素材を最初からちゃんと使うことが大切。それによって年月を経てさらに品格と風格が出てくるのです。

7



[旗生邸]

アドモントオーク 節なし 現場塗装 | 旗生邸 | 城戸崎建築研究室  
Photo : 45g Photography 小島純司



[八ヶ岳の家]

アドモントオークダーク | 八ヶ岳の家 | 城戸崎建築研究室  
施工会社 : 株式会社新津組 | Photo : 45g Photography 小島純司



## ARCHITECT INTERVIEW

Takeru Shoji

[ Cardigan Cardigan! / 鎧西の家 ]

シリアンパインフロア | Cardigan Cardigan! / 鎧西の家 |  
東海林健建築設計事務所 | Photo : Isamu Murai

10

Case.3

### 建築家の床材考

節があることが、むしろニュートラル。  
自然に近くて主張し過ぎないのがいいですね。

| 住宅デザインの調和の中で、床材を検討するときに大切にしていることはありますか？

「他の会社さんのオークラスティックも見たことがあるけれど、これは個人的な感覚の話だけど、張り上がったときに UENOさんのオークラスティックがいちばん綺麗なんですよ。変な主張をしないし、節があるのにニュートラルに仕上がるっていうことかな。石とかタイル、モルタルに近いような感覚で使えるのがね。エッジが深いとうるさいカジュアルになってくるけど、アドモントのオークラスティックはそうじゃないから。全体的にニュートラルに仕上げたいっていう欲求に応えてくれる床材ですね。」

| 数々の物件に、アドモントフロアやシリアンパインを採用していただいています。

「喜んで使わせていただいていますよ（笑）基本的にオークラスティックとパインを使うことが多いですね。床座りの家には基本的にパインを薦めています。おしづりが暖かく、材質が柔らかいので、最近もソファや椅子を置かない物件にはパインを入れました。傷がつきやすいという点はもちろんあらかじめ了解してもらいますけどね。あとは、オークラスティックを使いたいけれど、コスト的に厳しいときはパインにすることもあります。その場合は着色をしてお施主様の要望に近づけるようにしています。」

| 「se house」は東海林さんの手がけた物件の中でもかなりモダンですね。

「そうですね、オークラスティックの床材が好きなのですが、実はまだ満足しないところもあって。この物件はお施主様のイメージに合わせて何度も着色したりけっこう実験しましたよ。実際に使った床はオークラスティックですが、リビングは黒で、階段はグレーに仕上がっています。」

11

Case.3

### 建築家の床材考

節があることが、むしろニュートラル。  
自然に近くて主張し過ぎないのがいいですね。

| オークラスティックを高い頻度で使われる理由は何でしょう。

「他の会社さんのオークラスティックも見たことがあるけれど、これは個人的な感覚の話だけど、張り上がったときに UENOさんのオークラスティックがいちばん綺麗なんですよ。変な主張をしないし、節があるのにニュートラルに仕上がるっていうことかな。石とかタイル、モルタルに近いような感覚で使えるのがね。エッジが深いとうるさいカジュアルになってくるけど、アドモントのオークラスティックはそうじゃないから。全体的にニュートラルに仕上げたいっていう欲求に応えてくれる床材ですね。」

| 石やモルタルと同じような感覚で使えるというのは、とても興味深いお話を。

「雪とか雲の白って、ニュートラルだと思うのね。表情が單一ではないっていう。それに近い感覚というか。節があるのが自然に近いんですね。むしろ、節があることでニュートラルに感じられるわけですよ。」

| 施工性のよさも評価されているとかがいました。

「施工業者さんから喜ばれるのは事実ですよね。間違いがないし、口数が少ない。その安心感はありますよ。あとは木口の美しさも特徴ですね。階段とかわざと木口を見せるようなデザインのときはアドモントのフラットな三層が綺麗で好きです。表層材の厚み、張り上がりの美しさ、節のバランス、目地とか、自然に近くて主張し過ぎないのがいいですね。」



東海林健建築設計事務所  
東海林健  
Takeru Shoji

1975 秋田生まれ  
1999 新潟大学工学部建設学科 建築学コース卒業  
2002-2003 Berlage-Institute 大学院（オランダ ロッテルダム市）  
2004 s.i.k.i 建築設計事務所設立（共同主宰）  
2008 東海林健 建築設計事務所設立  
2012 長岡造形大学非常勤講師（-2018）

受賞歴  
2008 リフォーム＆リニューアル設計アイデアコンテスト 佳作  
2014 日本建築家協会優秀選 優秀選  
2015 住まいの環境デザイン・アワード 2015 入賞  
2016 日本建築家協会優秀選 優秀選  
2017 住まいの環境デザイン・アワード 2017 ブルー＆グリーン賞  
2018 日本建築学会北陸建築文化賞  
2018 秋田の住宅コンクール 優秀賞



[ se house ]

アドモントオークラスティック 現場塗装 | se house |  
東海林健建築設計事務所 | Photo : Koji Fujii (Nacasa & Partners)



[ Wow! Sta. ]

アドモントオーケラスティック | Wow! Sta. |  
東海林健建築設計事務所 | Photo : 佐武浩一



## ARCHITECT INTERVIEW

Hisatsugu Takatsu



Case.4

### 空間のスタイリングと建材選び

ストーリー性のある家づくり。  
だから建材にもストーリーと愛着を求めます。

| 物件ごとの樹種のセレクトはどのように考えられているんでしょうか。

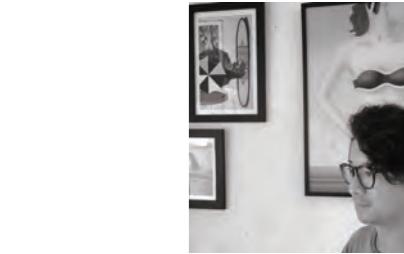
「品質のよさというのはもちろんんですけど、僕の場合はなによります人ですね。建材を選ぶのでも、担当の方との相性がとても大事なんですよ。建材を売る側がその商品のことを本当に好きで、それを僕も好きになると、価値観の共有ができますよね。UENOさんの場合はヨーロッパの文化とか、商品を厳選している部分とか、そういうところにストーリーを感じられるのがポイントですね。産地っていうのも意外と決め手になるんですよ。国のイメージや歴史の背景があって、イメージが見えたり価値が生まれたりするでしょう。そして、それがうちの建築もあるんです。『ストーリー性がある家づくり』っていうね。」

| パインの樹種はよく使っていただいているよね。

素材へのこだわりはとても強いですよね。リクエストもたくさんいただいたら。

「例えば『今までやっていないことをやってくれ』と言ってくれるお客様がいます。でも選ぶ基準っていうのはお施主様自身にはないんですね。だから選択のきっかけは僕がつくらなくちゃいけない。そういうときに連絡して、『こういうのない?』って探してもらったりね。あと、この仕事をしていると家族との時間を削って働いていたりするわけじゃないですか。だから自分が提案する素材は、自分のパートナーのような気持ちで妥協せずに選びたいと思っています。」

[ Smile journey ] アドモントパイン | Smile journey | 有限会社ハグホーム | Photo : 水谷綾子



有限会社ハグホーム

高津久嗣

Hisatsugu Takatsu

㈲ハグホーム代表取締役。前身である㈲高津工務店は1932年創立。2009年、以前より自社ブランドHUGHOMEとして活動していく、お客様にも定着していた㈲ハグホームに社名変更し、代表に就任。設計から施工管理まで一貫し、制作家具や照明プランまでをトータルプロデュースする。上質な自然素材と普遍的なデザインをミックスした空間はどこか懐かしい雰囲気を感じさせ、クリアントのライフスタイルに合った住空間をオーダーメイドで形にしている。素材・環境・性能・デザイン、あらゆる角度から「居心地のよい自分らしい暮らし」を追求した注文住宅を提案している。2019年、DIY のできるコーヒーショップ“FRANK COFFEE and WORKSHOP”をオープン。

## 空間のスタイリングと建材選び



普通は一般的なオイル塗装品での納材が多いのですが、  
HUGHOMEさんの場合は無塗装品で納めることが多いんですね。

「それは僕の中で、オイル塗装をされていると既製品とか規格品という認識が働いてしまうだけかもしれないです。未塗装はまったくの無規格じゃないですか。自由に塗れる素材だから塗りたくなる、という感覚ですね。だって塗れるんだもの（笑）っていう。そのときの塗料も1色じゃ満足できないから複数の色をブレンドしてみたりね。」

「本当にオリジナルの、他の方が真似できない色になりますよね。」

「そうですね、一般の方はパッと見では分からなかもしれないんですけど、僕らは分かるんで。提案できるなら提案したくなりますよね。もし色がなければお施主様のイメージのために作るし、床と窓枠は基本的に同じ色で着色しますね。そのオリジナリティに対する努力はお客様の満足感にもつながりますから。」

「そういうのってお施主様にとってはすごく楽しいですよね。」

「楽しいけれどドキドキもあり、ね。でもそれって本物の木だからできるんですよ。シート張りだったらありえない。カタログから選ぶだけですから。肌触りも本物の木には勝てないですしね。ただオリジナルだからこそ出来上がってみると分からぬ部分もあって、そのワクワク感が作っている醍醐味にもなります。『カタログで見たあれを張るんです』では高揚感がないですよね。そういう楽しみと一緒に味わえるのが本物の木なんですよ。味や癖があるくらいがいいのかもしれない。経年変化もそうですし、何一つ完全に同じものがないというのは納めていて楽しいし。肌触りと香りも自然のものには敵ないです。そこが無垢の魅力かなと思いますね。」

## 自然素材の選択において 価値観や伝え方が変化した。

「作る側もお施主様もいかに愛着をもてる家にしていくか、その点で自然素材を使うことは大きな意義があるわけですね。」

「やっぱりご自分の家の話ですから。お施主様の愛着は相当ですよね。壁に頬をこすりつけている人もいましたよ。トイレで何時間でも過ごせそうとか（笑）でも前提として、人と人がつながっていないとそうならないんです。素材の良し悪しだけじゃならない。自然の素材って、以前は基本的な情報を伝えることだけで精一杯だったんですよ。『自然素材の何がいいの？』という部分を伝えること。お施主様もメンテナンスを心配していたりね。でも、今は同じ自然素材でも会話の中身や価値観やその伝え方が変わってきたのかなと思います。単価と見え方だけじゃないです。今は選択のポイントの中に、ストーリーとか人の関わりが入っているんです。現代はそういう選択をする時代だと思うんですよ。」

「HUGHOMEさんは常にトップランナーとして活躍されていますが、参考にされているものとかあるのでしょうか。」

「まわりのことはあまり意識しないです。知り過ぎない方がいいと思うんですよね。じゃないとそっちに向かっちゃう。何かに似せたものを目指しちゃう気がするんですよ。でもそれだとオリジナルを出せないなと思って。何かを見て真似でではなく、ないものを目指した方が愛着持てますよね。」





Case.5

## 建築デザインにおける床材の役割



小島光晴建築設計事務所  
**小島光晴**  
Mitsuharu Kojima

1973 栃木県足利市生まれ。  
1992 栃木県立足利高等学校 卒業  
1996 工学院大学工学部建築学科 卒業  
1998 工学院大学大学院修士課程建築学修了  
1998 株式会社 山本・堀アーキテクツ 入所  
2001 StudioGreenBlue 設立  
2013 工学院大学建築学部 非常勤講師 就任  
2013 小島光晴建築設計事務所 改称

受賞歴  
2018 A' Design Award & Competition 2018  
2017 第45回 日本建築士会連合会賞  
2014 グッドデザイン賞 2014  
2014 JCD Design Award 2014  
2013 第5回 サステナブル住宅賞  
2012 グッドデザイン賞 2012  
2011 AR House Awards 2011

「そうですね。外遊びが好きだということで、土間の中に靴を脱げる場所が欲しいと考えたときに、縁側みたいに座れる廊下がいいんじゃないかと。テーブルを持ってくれば椅子としても使えるし。それで手や足が直に触れる場所になるから、柔らかい木がいいなと思ってノルディックパインを選択しました。実際、今はご家族がそこに座ったり、テーブルにしたり、ごろごろしたり、本を読んだり、いろんな使われ方をしているので、感じ取ってもらえたようです。」

「自由な使われ方をすることを最初から想定されていたのですね。」

「僕の場合はこの住宅に限らず、設計する上で室内を家具に支配され

『HOUSE ME』に弊社の床材を採用していただきましたが、この物件のデザインはどんなことを意識されたのでしょうか。開放感のある土間がとても印象的でした。

「この住宅は土間を中心とした設計なんです。普通は住宅って閉じている空間なんんですけど、あえて開いていることでご近所の方も入ってこられるよう設計しました。少子化で子どもが少ないから、家族だけじゃなく地域のみんなでコミュニケーションを生み出す空間を作るという意識で。建て主さんはオープンな方で、それを提案したら『面白いですね』と共感してくださいました。クローズにしないことが逆に防犯になるという面もあります。聞くことで閉じる、という意味ですね。もちろんお客様のスタイルとマッチしてということですけど。」

「すっきりとシンプルなデザインの中にワンポイントで本物の木があるというのはいいですよね。」

たくないので、ちょっとした工夫をして、色々な使われ方をされるようデザインで誘発しています。」

また『HOUSE IS』ではヨーロピアンオーク 148 ラスティックを採用していただいている。

「UENOさんの扱うオークって品がいいって思うんですよね。品がいいのに粗さもある。それがいいなって。リクエストがラフな印象であっても、DIYのような味いよりも、綺麗に美しく貼り上がるイメージを求める建て主さんが多いんですね。それにヨーロピアンオーク 148 ラスティックは積層だけど暖かいのがいいですね。」

「デザインの方向性的にシックとしたものが多いので、節はない方がいいのかな?とも思うのですが、逆に、節を良しとされますよね?」

「そうですね。『品のよさと粗さ』『軽さと重さ』『織細さと大胆さ』みたいな相反する価値が同居しているのが好きなんですよ。だから魅力があるんですよね。100%カッコいいわけでもない、100%シックしているわけでもない、そういう中で素材を選びたいと思っているので、『節があるけど品がいい』という UENOさんのオークが僕は好きなんです。UENOさんとの出会いをさかのぼると、元々は、幅広のフローリングを探していたんです。でもなかなか気に入ったものが見つからなくて。友人の設計事務所のオープンハウスでアドモントフロアに一目惚れして『これどこの?』って聞いて、それで知ったんです。だた、ずっと建て主さんに提案してはフタれ続けていたんですよ。コストの問題が一番大きいんですけど。それで5年越しにようやく導入できることになって。やっと恋が実ったと思って(笑)」

[ HOUSE ME ] ノルディックパイン | HOUSE ME | 小島光晴建築設計事務所 | Photo : 中村絵

## 建築デザインにおける床材の役割

費用の話をすると、建築全体において床にかけられるコストって、多くの場合優先的ではないですよね。

「そう、床って広いじゃないですか。面積が大きい分、金額がガンと下がるから、そういう部分で最初に減額対象になりやすいですよね。でも、床の材料って重要なんですよ。床は空間の6分の1しかないけれど、いちばん人とコミュニケーションをとる場所だと思うんです。だから建て主さんに『頑張って、お願いします』と（笑）」

床材のセレクトは基本的に建て主さんの要望なのでしょうか。それともデザイナー的な選択なのでしょうか。

「それは建て主さんの要望が強いです。ただ選択肢のお薦めはしています。提案する床材はどれも、いいところ悪いところすべて説明します。そうすると素材の収縮を嫌がる方が多いし、見た目の部分では品のいいものが残る。だから最終的に UENO さんの床が選ばれことが多いんですね。仕上がりのラインも木目も綺麗に見えて、しかもうるさすぎないというのがよくて。でもそもそも僕の場合、見た目のデザインをしたいというよりは、いろんな意見を吸収して成長する新しい枠組みをデザインしたいんです。建て主さんの希望って矛盾がいっぱいあるんですよ。でも、その矛盾がいいと思うんです。だから否定はせずに、取り入れたいと思っていて。その条件を全部含めた結果、かたちが出来上がっていくというイメージですね。最初から『素材は絶対これを使う』と決めるようなことはないですね。もちろん頭の中にイメージはありますけど。そこに固執するより、建て主さんの個性を楽しむようにしています。ひとつひとつの意見にヒエラルキーをつけずにフラットに受け入れる、というのが僕のデザインのソースになっているんです。」

生活スタイルや価値観は多様化しています。住宅もより個性的に多様化していくのが当たり前なのかもしれませんね。

「建築はもっと自由に、自分たちらしさが表現されていいと思うんですよ。ただ、その『自分らしさ』っていうのは、建て主さんと建築家のコミュニケーションがしっかりとないと作れないものなんですね。」

## 床はいちばん人とコミュニケーションをとる場所



# Floor Line up

List

## 取扱商品一覧

### ○ オーク

|                               |                                   |                                     |   |                                    |                                  |                                  |
|-------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|---|------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
|                               |                                   |                                     |   |                                    |                                  |                                  |
| オーク<br>Admonter - Oak<br>P.27 | オークホワイト<br>Admonter - Oak<br>P.27 | オークラスティック<br>Admonter - Oak<br>P.27 | オークラスティック<br>ホワイト<br>Admonter - Oak<br>P.28 | オークミディアム<br>Admonter - Oak<br>P.28 | オークダーク<br>Admonter - Oak<br>P.28 | オークグレイ<br>Admonter - Oak<br>P.29 |

### ○ パイン

|                                     |                                |                                |                                  |                                  |
|-------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
|                                     |                                |                                |                                  |                                  |
| パイン<br>Admonter - Soft Wood<br>P.41 | シリアンパイン<br>20mm<br>Siljan P.59 | シリアンパイン<br>14mm<br>Siljan P.59 | ボルドーパイン<br>Bordeaux Pine<br>P.61 | ノルディックパイン<br>Nordic Pine<br>P.62 |

### ○ その他の樹種

|   |  |                                      |                                      |  |
|---|--|--------------------------------------|--------------------------------------|--|
|   |  |                                      |                                      |  |
| アッシュライト<br>Admonter - Hard Wood<br>P.36 | アッシュオリーブ<br>Admonter - Hard Wood<br>P.36 | メープル<br>Admonter - Hard Wood<br>P.36 | チェリー<br>Admonter - Hard Wood<br>P.37 | ウォルナット<br>Admonter - Hard Wood<br>P.37 |

|   |                                     |  |   |   |
|---|-------------------------------------|--|---|---|
|   |                                     |  |   |   |
| アッシュダーク<br>Admonter - Hard Wood<br>P.38 | ラーチ<br>Admonter - Soft Wood<br>P.41 | ラーチグリージオ<br>Admonter - Soft Wood<br>P.55 | チーク 148 セレクト<br>Ueno Original Floor - Plywood<br>P.55 | ウォルナット 148 セレクト<br>Ueno Original Floor - Plywood P.55 |

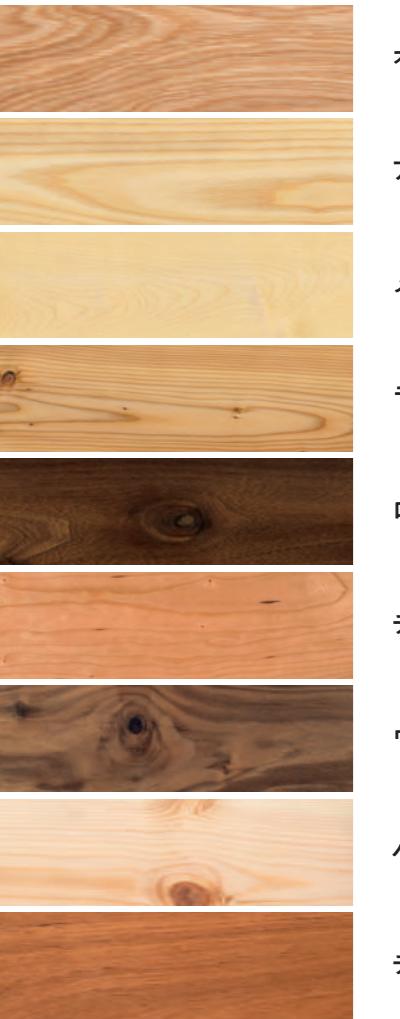
# Material

## 素材・性質から床材を選ぶ

木材は樹種ごとに見た目や性質が異なります。色合いや節の有無、硬さなどそれぞれの樹種の違いを理解したうえで、生活スタイルやお部屋のイメージにあわせて、あなたにぴったりの床材をお選びください。

Wood

### 樹種



#### オーク

無垢床材の定番となっているオーク材（ナラ）。比較的潤沢に採れる木で、世界中で家具や床材、ウィスキーやワインの樽の材料などに幅広く使用されています。堅く耐久性があり、穏やかな風合いがどんな部屋にもマッチします。

#### アッシュ

モクセイ科の広葉樹。粘りと強度があり衝撃に強い他、加工しやすく、表面の仕上がりがきれいな家具材としても人気があります。北欧家具などの定番品としても一般的に使われています。辺材は白色。心材は淡灰褐色。

#### メープル

カエデ科の落葉広葉樹。高級家具や楽器などによく用いられます。辺材は淡いクリーミーな黄白色。木目が緻密で比較的やさしい印象です。

#### ラーチ

素朴でワイルドな針葉樹（唐松）。大胆な波紋のような不規則な木目のくっきりとしたコントラストが特に印象的です。主張のある個性的な空間演出に最適です。和室にもよく合う素材です。

#### ロビニアダーク

ニセアカシアの名で有名なロビニア材。荒めのはっきりした木目と、たくさんの色が混じりあったような独特の深いブラウン色が特長。

#### チー

木肌のきめの細かさと赤みのある色合いが特長のチー材はバラ科サクラ属の広葉樹。使い込むほど艶色に変化し、高級感があります。

#### ウォルナット

歐米で高級家具や工芸品などによく使用される美しい木肌のウォルナット材。深いブラウン色と重厚感のある風合いが特長です。特にヨーロッパで人気のある素材です。

#### パイン

比較的加工しやすく、そのため家具材としてよく用いられるパイン材（マツ科）。白みと黄色みのある家庭的なやさしい雰囲気から、カントリー調のインテリアや子ども部屋などにもマッチします。

#### チー

堅く伸縮率が比較的小さく安定している材質です。油分を多く含み水に強い特長を活かし、船舶や家具、建築用の材料として広く使われています。美しい木目と強靭な耐久性を持つ高級材です。

Color

Hardness

Type

### 色調・明暗

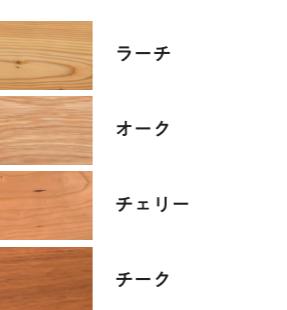
#### Light 明るい色あい



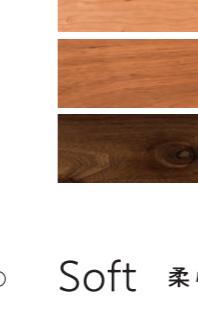
#### Hard 硬め



#### Mid 中間の明るさ



#### Soft 柔らかめ



#### Dark 暗い色あい





低温床暖房に対応する独自の三層構造

# Admonter

アドモント Oak - Hard Wood - Soft Wood

## Detail

### 歴史

Admonter社は1074年を起源とする歴史と伝統をもつ良質な無垢三層床材メーカーです。11世紀にオーストリア・アドモント修道院の修道僧たちは教会の建築と村民の雇用のために修道院が所有する森林から木を伐採し、建築資材へと加工し利用していました。アドモントフロアはこれを起源とし、1874年に初めて工業的なプロセスで木材の加工をスタート。長い歴史の中で世界トップクラスの技術と品質を確立しました。

### 独自の三層構造無垢材で、低温床暖房に対応

表裏同じ堅さの木を使用。各層の繊維方向を交差させた独自の三層構造により、無垢材の反りやねじれを最小限に抑えます。そのため無垢材でありながら低温床暖房の使用が可能です。また三層構造の寸法安定性から幅広フラットな張り上がりを実現させていきます。



### アドモントフロアの原材料の産地

オーストリア、フィンランド、ハンガリー、チェコ共和国、ウクライナ、フランス、ドイツ、ベルギー、クロアチア、スロバキア、スロベニア  
※ウォルナットはアメリカ、メープルはカナダ

### 品格を感じる張りあがりの美しさ

アドモントフロアでは原料の丸太の段階からトップグレードの品質にこだわっています。上質な丸太から作られたアドモントフロアには落ち着いた品の良さがあり、洗練された空間を演出します。原材料から妥協することなく、より上質なものを選ぶ。これがアドモントフロアです。

### 品質管理

創業当時から現代に至るまで、徹底した品質管理を維持していることがアドモントフロアの誇りです。高い基準での品質管理を実現させているのは、木材の優れたグレーディング技術です。“Wood-Eye”と呼ばれる最新の機械を使い選別、更に人間の目によって丁寧に確認が行われます。常に一定の精度を保っています。

### デザイン創造と技術力

アドモントフロアでは、常に市場の先端をいくフロアデザインを提供しています。そして、新しいデザインを実現できる高い技術力も魅力となります。

### 健康にやさしい仕上げ

蜜蝋・亜麻仁油・カルナバベースオイルが主成分の身体にやさしいワックスが塗装されています。



# Oak

Admonter



Admonter - Oak

オーク節なし | 高萩の家 | 設計監理：小野建築設計室 | Photo : 飯島秀雄（アトリエ飯島）

Admonter - Oak  
オーク



Oak

オーク

落ち着いた色合いと木目が、世代を問わず好まれる木。  
さらに材質も硬く、安定性もあるため  
さまざまなスタイルの住宅で採用されています。

節なし | 仕上げ：ナチュラルオイル仕上げ  
サイズ：2000×158×15mm  
入数：7枚入り | 2.21 m<sup>2</sup> / ケース



床暖



Oak White

オークホワイト

ホワイトオイル塗装によるミルキーな色合いが特長。  
より空間が落ち着いた上品な印象になります。

節なし | ナチュラルオイル仕上げ  
サイズ：2000×158×15mm  
入数：7枚入り | 2.21 m<sup>2</sup> / ケース



床暖



Oak Rustic

オークラスティック

オークの節の部分を含んでおり、  
木目も荒々しい表情のグレードです。  
無垢の荒削りな自然さが演出されます。

節あり | ナチュラルオイル仕上げ  
サイズ：2000×158×15mm  
入数：7枚入り | 2.21 m<sup>2</sup> / ケース | パテ埋箇所有



床暖

## オーク



Oak Rustic White

## オークラスティック ホワイト

オークラスティックのホワイトオイル塗装品です。  
ラフな雰囲気と上品さとのバランスが  
絶妙な仕上がりです。

節あり | ナチュラルオイル仕上げ  
サイズ: 2000×158×15mm  
入数: 7枚入り | 2.21 m<sup>2</sup> / ケース | パテ埋箇所有



床暖



Oak Medium

## オークミディアム

オーク材をサーモ処理して色づけました。  
熱の力による自然な発色と  
アンティークな雰囲気が魅力です。

節あり | ナチュラルオイル仕上げ  
サイズ: 2000×154×15mm  
入数: 7枚入り | 2.16 m<sup>2</sup> / ケース | パテ埋箇所有  
サーモ処理加工品



床暖



Oak Dark

## オークダーク

アドモントフロアの中ではもっとも濃厚で  
もっとも深いダーク系フロアです。  
深い色合いが重厚な雰囲気を演出します。

節あり | ナチュラルオイル仕上げ  
サイズ: 2000×154×15mm  
入数: 7枚入り | 2.16 m<sup>2</sup> / ケース | パテ埋箇所有  
サーモ処理加工品



床暖



Oak Gray

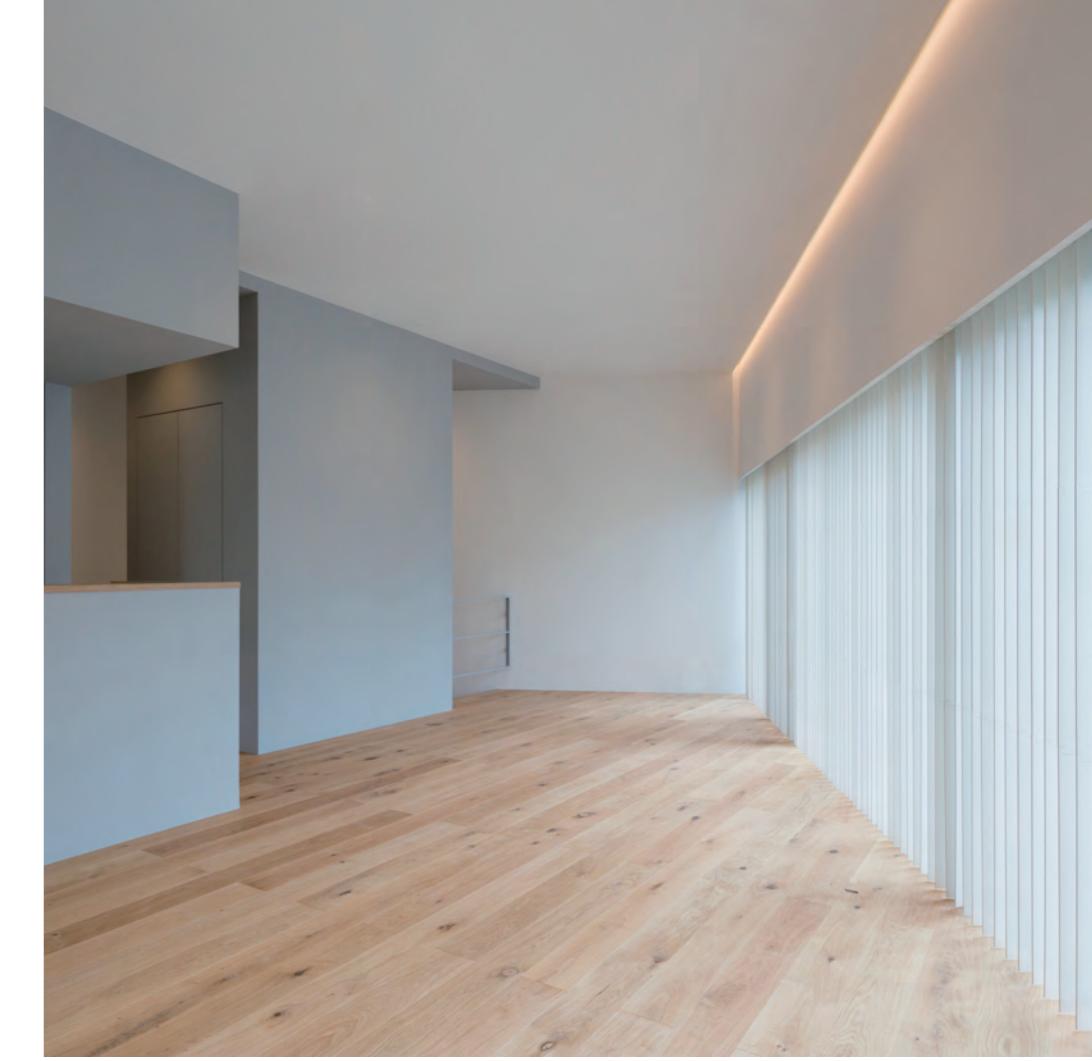
## オーク グレイ

ブラッシュ（うづくり）仕上げをした表面に  
グレー色を塗装しました。  
落ち着きのある定番のグレーカラー。

節あり・うづくり加工 | ナチュラルオイル仕上げ  
サイズ: 2000×158×15mm  
入数: 7枚入り | 2.21 m<sup>2</sup> / ケース



床暖







# Hard Wood

Admonter



Admonter - Hard Wood

ウォルナット | N 部 | SUZUMEBACHI | Photo 母倉知樹



Admonter - Hard Wood

チェリー | かきの木のある家 | 株式会社高田建築事務所

## ハードウッド（広葉樹）



Ash Light

アッシュライト

個性的で大らかな木目と温かな白さが、明るく印象的な室内を演出します。使い込むほど木肌が馴染みインテリアがより魅力的に。

仕上げ：ナチュラルオイル仕上げ

サイズ：2000×158×15mm

入数：7枚入り | 2.21 m<sup>2</sup> / ケース

床暖



Ash Olive

アッシュオリーブ

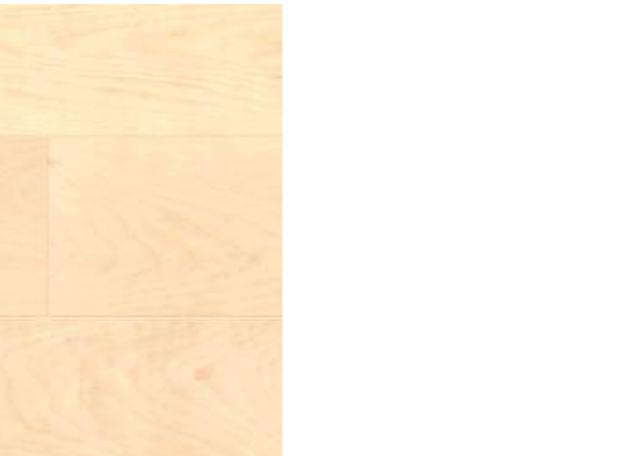
明るい白木に茶色い芯部が大胆に織り込まれたオリジナリティ溢れる床材です。使い込むほど木肌が馴染みインテリアがより魅力的に。

仕上げ：ナチュラルオイル仕上げ

サイズ：2000×158×15mm

入数：7枚入り | 2.21 m<sup>2</sup> / ケース

床暖



Maple

メープル

きめの細かい木目と、象牙のようなやさしい白さが特長。時間の経過とともに、こっくりとした色合いに和室にも洋室にもマッチします。

仕上げ：ナチュラルオイル仕上げ

サイズ：2000×158×15mm

入数：7枚入り | 2.21 m<sup>2</sup> / ケース

床暖



Cherry

チェリー

あたたかなイメージのお部屋にぴったりの上品な赤みを持った木です。時間とともに深く美しい煉瓦色へと変化していきます。

仕上げ：ナチュラルオイル仕上げ

サイズ：2000×158×15mm

入数：7枚入り | 2.21 m<sup>2</sup> / ケース

床暖



Walnut

ウォルナット

ほどよい重厚感のある深いブラウン色と白い部分が交じり合う木目が印象的。強い存在感を発揮し、空間のイメージを一変させる力があります。

仕上げ：ナチュラルオイル仕上げ

サイズ：2000×154×15mm

入数：7枚入り | 2.16 m<sup>2</sup> / ケース

床暖



Robinia Dark

ロビニアダーク

サーモ処理による深みのあるブラウン色の中に、イエロー・グリーン、パープルなど微妙な色がパレットのように混ざり合い、個性ある表情を作り出しています。

仕上げ：ナチュラルオイル仕上げ

サイズ：2000×154×15mm

入数：7枚入り | 2.16 m<sup>2</sup> / ケース

床暖

## ハードウッド（広葉樹）



Ash Medium

## アッシュミディアム

独特の個性的な木目と、サーモ処理による鮮やかなブラウン色が印象的な床材です。空間を落ちさせるミディアム色。

節あり | 仕上げ：ナチュラルオイル仕上げ

サイズ：2000×188×15mm

入数：7枚入り | 2.63 m<sup>2</sup> / ケース | パテ埋箇所有

サーモ処理加工品



床暖



Ash Dark

## アッシュダーク

アッシュ独特の個性的な木目と、サーモ処理による濃いブラウン色が、個性と落ち着きをバランスよく表現。木目を楽しむシックな床材。

節あり | 仕上げ：ナチュラルオイル仕上げ

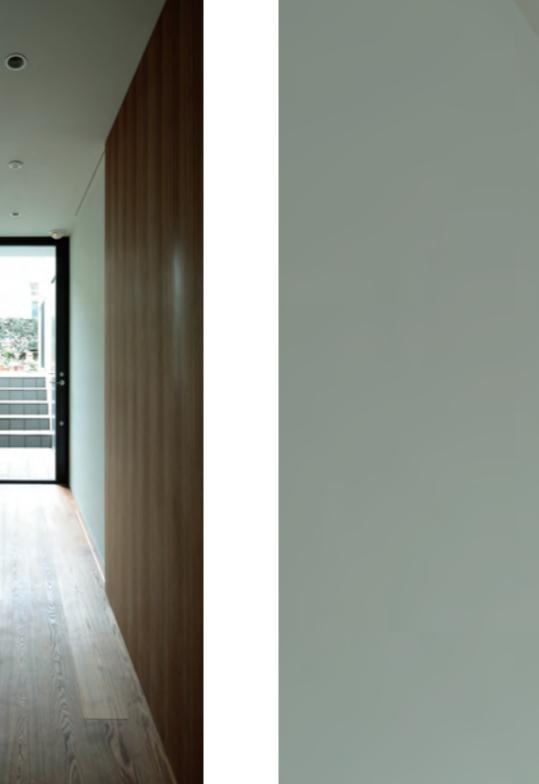
サイズ：2000×188×15mm

入数：7枚入り | 2.63 m<sup>2</sup> / ケース | パテ埋箇所有

サーモ処理加工品



床暖



## アッシュミディアム | 白山O邸 | 川島鈴鹿建築計画

Photo : koichi torimura

# Soft Wood

Admonter



Admonter - Soft Wood

パイン | ぐるぐるダイニング | 株式会社高田建築事務所

40

Admonter - Soft Wood  
ソフトウッド（針葉樹）



Pine

パイン

明るい色の健康的な木肌と大きめの節が特長です。  
針葉樹の中では丈夫で足触りも良いので、  
子供部屋などにもおすすめです。

節あり | 仕上げ：未塗装品  
サイズ：2000×161×15mm  
入数：7枚入り | 2.25 m<sup>2</sup> / ケース | パテ埋箇所有

節あり | 仕上げ：ナチュラルオイル仕上げ  
サイズ：2000×161×15mm  
入数：7枚入り | 2.25 m<sup>2</sup> / ケース | パテ埋箇所有



床暖



Larch

ラーチ

丸い節とはっきりした木目が特長の針葉樹です。  
明るめの茶色が美しい鉛色へと  
次第に変化していく様子を楽しめます。

節あり | 仕上げ：ナチュラルオイル仕上げ  
サイズ：2000×161×15mm  
入数：7枚入り | 2.25 m<sup>2</sup> / ケース | パテ埋箇所有



床暖



Larch Grigio

ラーチグリージオ

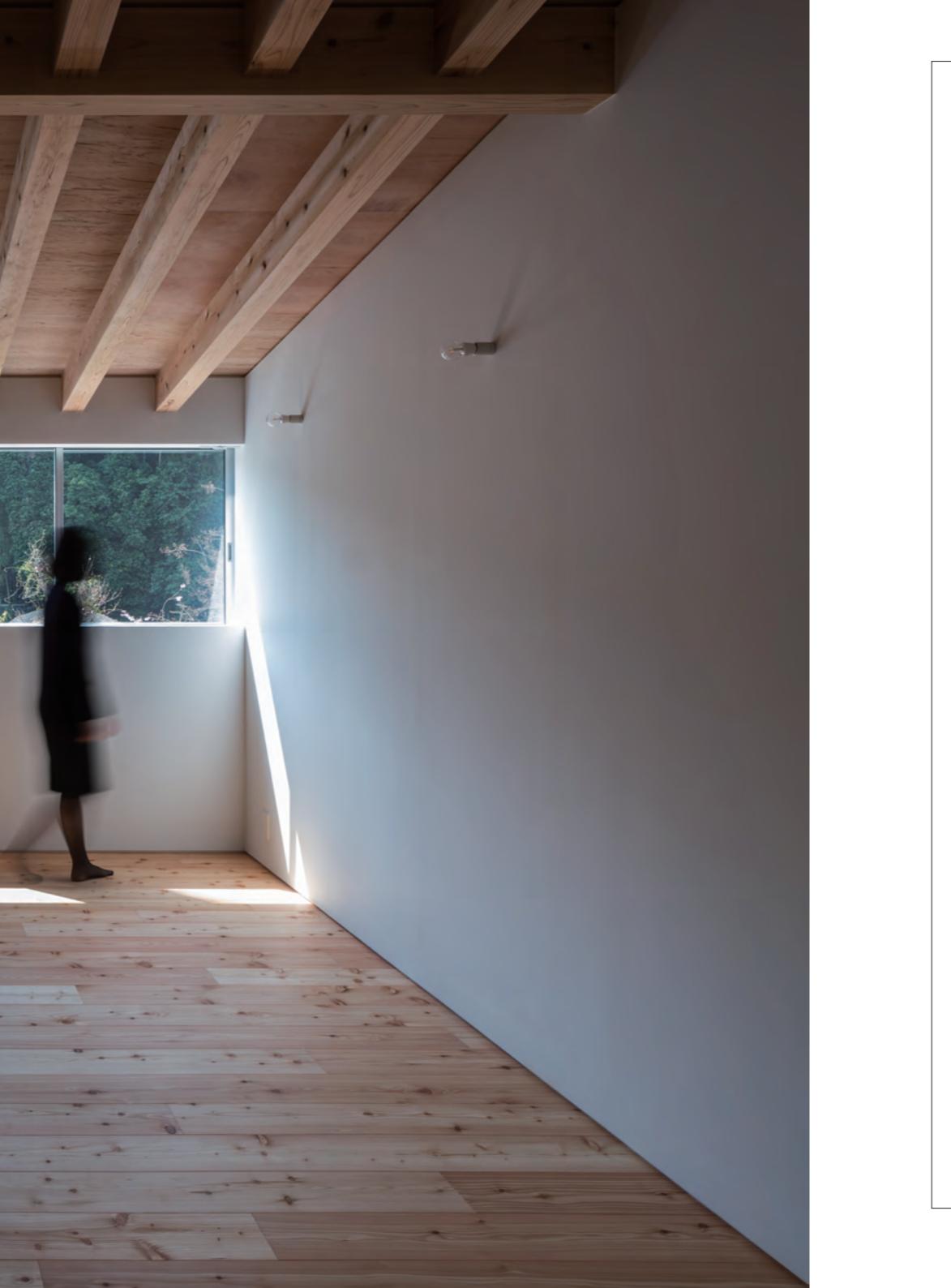
独特の雰囲気を醸し出す、個性的な木目のコントラスト。  
アンティークな雰囲気と和のティストを合わせもつ、  
不思議な魅力があります。

節あり | 仕上げ：うづくり加工 ナチュラルオイル仕上げ  
サイズ：2000×192×15mm  
入数：7枚入り | 2.69 m<sup>2</sup> / ケース | パテ埋箇所有  
サー毛処理加工品



床暖

41



## Admonter Selection

### Admonter

菱形

菱形を組み合わせていくことで、3D キューブを含めた複数種類のパターンを自由に組み合わせることができます。

Rhombus

菱形

オーク節なし・うづくり

仕上げ: ナチュラルオイル仕上げ  
サイズ: 15x270x470mm  
入数: 16枚入り | 1.010 m<sup>2</sup> / ケース

ラーチ節あり・うづくり

仕上げ: ナチュラルオイル仕上げ  
サイズ: 15x270x470mm  
入数: 16枚入り | 1.010 m<sup>2</sup> / ケース

Puzzle

パズル

オーク節なし・フラット/うづくり

仕上げ: ナチュラルオイル仕上げ  
サイズ: 15x240x480mm  
入数: 14枚入り | 1.163 m<sup>2</sup> / ケース

サイズ: 15x240x720mm  
入数: 7枚入り | 1.210 m<sup>2</sup> / ケース

ラーチ節あり・フラット/うづくり

仕上げ: ナチュラルオイル仕上げ  
サイズ: 15x240x480mm  
入数: 14枚入り | 1.163 m<sup>2</sup> / ケース

サイズ: 15x240x720mm  
入数: 7枚入り | 1.210 m<sup>2</sup> / ケース

Chevron

シェvron

オーク節あり・うづくり

仕上げ: ナチュラルオイル仕上げ  
45° サイズ: 15x138x582mm  
入数: 14枚入り | 1.124 m<sup>2</sup> / ケース

45° サイズ: 15x138x891mm  
入数: 7枚入り | 0.861 m<sup>2</sup> / ケース

60° サイズ: 15x138x602mm  
入数: 14枚入り | 1.163 m<sup>2</sup> / ケース

60° サイズ: 15x138x921mm  
入数: 7枚入り | 0.890 m<sup>2</sup> / ケース

床暖

床暖

Admonter - Admonter Selection

菱形



高品質のフロアをお求めやすい価格で

# Ueno Original Floor

オリジナルフロア Solid - Plywood

## Detail

### コンセプト

Ueno Original Floor は、「品質の高いものを手の届く価格で」をコンセプトに、長年海外メーカーをメインに無垢床材を取り扱ってきたノウハウを活かし、自社ブランドとして提供している商品です。原材料を樹種に応じてヨーロッパを中心とした各国から調達し、加工・製造をアジアで行うことで、高いコストパフォーマンスを実現しています。

### 低温床暖房対応

芯材にバーチ積層材を 100% 使用する事で、高い形状安定性を実現。低温床暖房の使用が可能です。

#### - 性能試験データ 温水マットによる 1100 時間連続加熱試験

供給温水 80°C | 床材表面温度 45~50°C | H29.8 実施

隙間（エンド） 0.2 ~ 0.95mm

隙間（サイド） 0.3 ~ 0.7mm

段差（エンド） 0.0 ~ 0.35mm

段差（サイド） 0.05 ~ 0.4mm

反り（カッピング） -0.18 ~ -0.55mm

「低温床暖房対応」とは、床の表面温度が28°Cを超えない範囲での使用を意味します。一般的に木材は28°Cを超えると放湿が激しくなり、割れや反りが生じやすくなります。また、基準の範囲内で使用することは、低温やけどを防ぐことにもつながります。  
(※一部、低温床暖房に対応していない商品もございます。)



### 素材感へのこだわり

無垢材では厚み15~18mm、横層床材においても表層材を4mmと厚く設定しております。これは、フローリングは住宅の中で最も人の肌が触れる場所であると考え、できるだけ無垢の木の質感を感じてもらいたいからです。厚く設定する事で、床表面を削って再生させることも可能です。

### Solid

ソリッド | 無垢

オークを原材料とした無垢床材です。一枚ものならではの迫力が感じられる材です。経年変化を感じながら、何百年も使い続けられる確かな品質をもっています。



### Plywood

プライウッド | 積層

オーク、チーク、ウォルナットを原材料とした積層床材です。巾広フラットな仕上がりと、低温床暖房に使える機能性を兼ね備えています。



# Solid

Ueno  
Original  
Floor





Ueno Original Floor - Solid

ヨーロピアンオーク 150 ラスティック | 土手の家 | 設計：オルタナティブデザインスタジオ / 株式会社 ADS  
施工：STUDIO KAZE/ 株式会社 ADS | Photo : 佐久間正人写真事務所

Ueno Original Floor - Solid

Solid



Oak 150 Rustic

ヨーロピアンオーク 150 ラスティック

節あり | 仕上げ：未塗装

サイズ：18×150×乱尺 (450～1200mm)

入数：2.20 m<sup>2</sup> / ケース | バテ埋蔵所有

節あり | 仕上げ：オスモオイル仕上げ

サイズ：18×150×乱尺 (450～1200mm)

入数：2.20 m<sup>2</sup> / ケース | バテ埋蔵所有



Herringbone

ホワイトオーク

ヘリンボーン

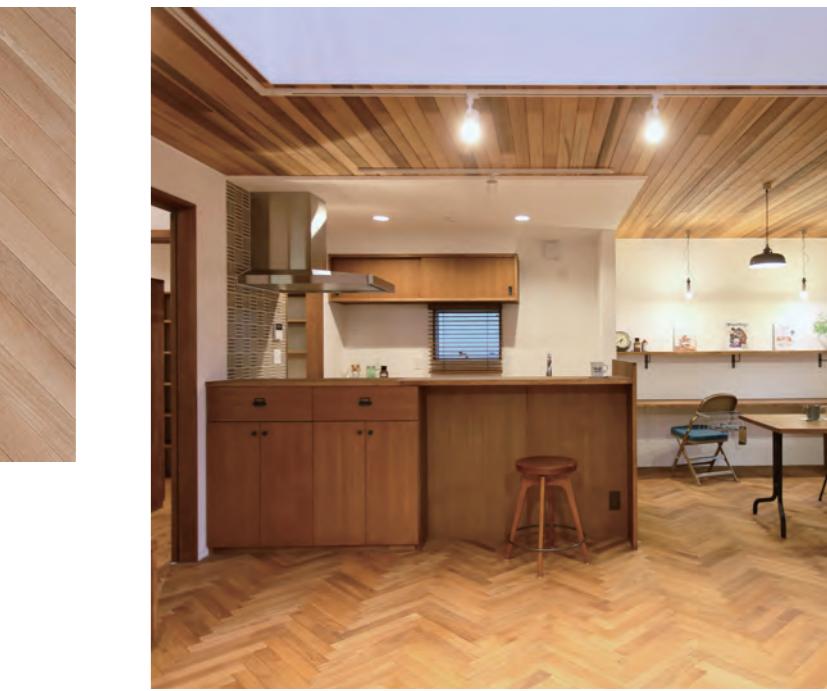
仕上げ：未塗装品

サイズ：15×60×420mm

入数：1.64 m<sup>2</sup> / ケース



床暖



Ueno Original Floor - Solid ホワイトオーク ヘリンボーン  
hand in hand | 有限会社ハグホーム





Ueno Original Floor - Plywood

ヨーロピアンオーク 148 ラスティック | S.O.H.O  
設計・施工：株式会社 Cube Design  
Photo：株式会社 Cube Design



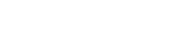
Ueno Original Floor - Plywood  
**Plywood**



### Oak 220 Select

ヨーロピアンオーク 220 セレクト

節あり | 仕上げ：オスモオイル仕上げ  
サイズ：18x220x2200mm  
入数：1.936 m<sup>2</sup> / ケース | パテ埋箇所有



床暖



### Oak 148 Rustic

ヨーロピアンオーク 148 ラスティック

節あり | 仕上げ：未塗装  
サイズ：15x148x1860mm  
入数：2.20 m<sup>2</sup> / ケース  
パテ埋箇所有



床暖



### Oak148 Wild

ヨーロピアンオーク 148 ワイルド

節あり | 仕上げ：オスモオイル仕上げ  
サイズ：15x148x1860mm  
入数：2.20 m<sup>2</sup> / ケース  
パテ埋箇所有



床暖

表層材 4mm 厚の贅沢な無垢の質感と幅広のフラット感、そして低温床暖房にも使える機能性を兼ね備えています。



**Ueno Original Floor - Plywood**

**Plywood**



**Teak 148 Select**

チーク 148 セレクト

仕上げ：オスモオイル仕上げ  
サイズ：15x148x1860mm  
入数：2.20 m<sup>2</sup> / ケース

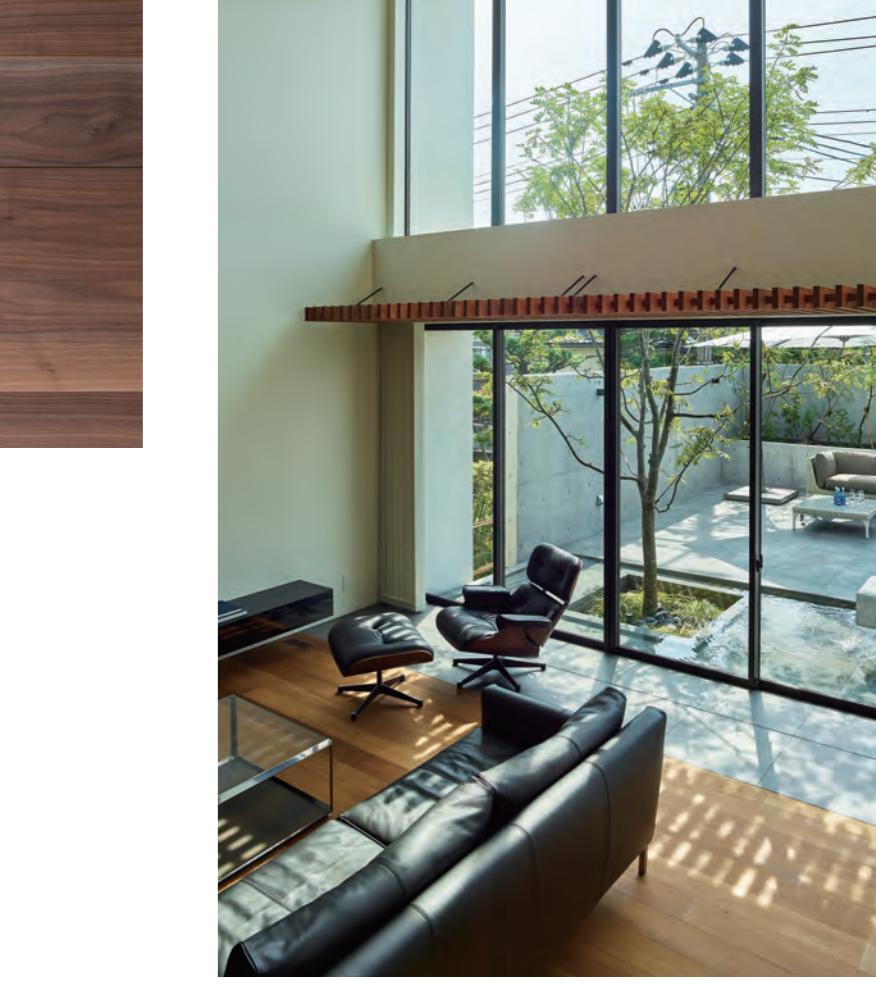


**Walnut 148 Select**

ウォルナット 148 セレクト

仕上げ：オスモオイル仕上げ  
サイズ：15x148x1860mm  
入数：2.20 m<sup>2</sup> / ケース





**Ueno Original Floor - Plywood**

チーク 148 セレクト | T 様邸 | 設計施工 : roomz 株式会社星野建築事務所  
Photo : 渡辺琢磨写真事務所

表層材 4mm 厚の贅沢な無垢の質感と幅広のフラット感、そして低温床暖房にも使える機能性を兼ね備えています。



## 床暖房にも使える無垢の北欧レッドパイン

# Siljan Pine

シリアンパイン

Pine

- 性能試験データ 温水マットによる 1100 時間連続加熱試験  
供給温水 80°C | 床材表面温度 45~50°C | H14.7.28 実施

|         |             |           |              |
|---------|-------------|-----------|--------------|
| 隙間（エンド） | 0.00~1.45mm | 段差（エンド）   | -0.05~0.29mm |
| 隙間（サイド） | 0.00~0.55mm | 反り（カッピング） | -0.29~0.42mm |

## Detail

### 歴史

シリアンはスウェーデンのヨーロッパ最大の北欧パインフローリングメーカーです。シリアンの工場は伝統的な林業地域であるダーラナ地方のモーラとサーナという町に位置し、地元の生活に根付いています。シリアンの歴史は1897年に遡り、現在は林業と木材加工についての膨大な知識と経験に基づいて、パインフローリングと羽目板を生産しています。

### 床暖房に使える無垢の床材

一般的な無垢の床材では加熱により木が変形し、反りや隙間が発生してしまいますが、シリアンパインフロアは、原材料の吟味や含水率の徹底管理により、熱乾燥による変形を最小限に抑えることに成功しています。そのため床暖房にも使用することができます。日本国内でも床暖房試験を行い、非常に良い結果を得ています。



### 北欧家具品質の床材

シリアン社が丸太を入手する山林は、家具用材の一大産地でもあり、標高が高く平坦な森が多いのが特徴です。そこでゆっくりと育った樹齢110~140年の木は、しっかりと目が詰まり、日照を均等に受けるため丸太の芯が中心に来る素直な直材となります。シリアンパインはその原板の中から選定された約40%で、使用されなかった原板は家具用としてデンマークなどに輸出されます。つまりシリアン社のパインフローリングは、家具用グレードの上位に位置する品質なのです。

### 含水率の徹底管理

シリアンパインフローリングの含水率は8%に設定されています。長年の経験と実績により含水率8%が最も伸縮による変化が少ないことが判明しています。ここで重要なのが8%まで下げるノウハウです。木材の中でもパイン材は他樹種に比べて中心部に樹脂分が多く含まれており、乾燥工程の良し悪しがはっきりと現れてしまう素材なのです。ここでもシリアン社の長年の経験と実績が活かされています。

### 表面仕上げについて

オイル仕上げの無垢フロアでは汚れ落としやオイル補充などのメンテナンスが必要なのが一般的ですが、シリアンパインフロアでは、日常的なメンテナンスがほとんど必要ありません。一般的には20g/m<sup>2</sup>といわれる塗布量に対して、70g/m<sup>2</sup>以上の塗料を使用することにより高い耐久性を実現しています。それでいて、無垢材の特徴である表面呼吸を妨げる事はありません。他にも、塗料に含まれる二酸化チタンの効果により日焼けを和らげたり、消臭効果、防汚効果、抗菌作用が期待できます。





Pine

Siljan

Siljan Pine

シリアンパイン | 柱梁の家 | ハルナツアーキ | Photo : 中村絵

58

Siljan

Pine

59



床暖



床暖

Siljan

Pine

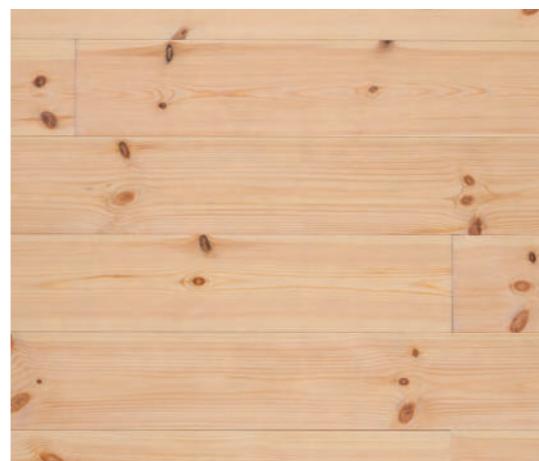
59



床暖



床暖



Siljan Pine 20mm

シリアンパイン 20mm

仕上げ :

未塗装

サイズ :

20×137×3830 mm

入数 :

6枚入り

| 3.15 m<sup>2</sup>入り / ケース

仕上げ :

オイル塗装品

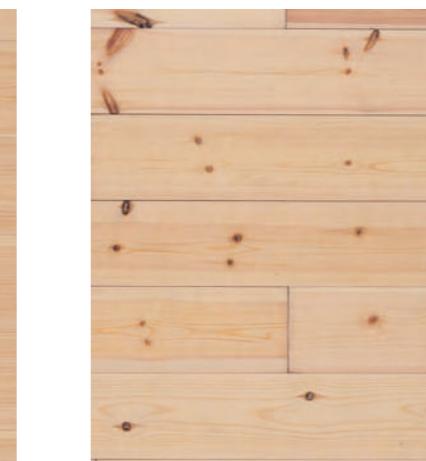
サイズ :

20×137×3830 mm

入数 :

6枚入り

| 3.15 m<sup>2</sup>入り / ケース



Siljan Pine 14mm

シリアンパイン 14mm

仕上げ :

未塗装

サイズ :

14×115×3830 mm

入数 :

10枚入り

| 4.40 m<sup>2</sup>入り / ケース

仕上げ :

オイル塗装品

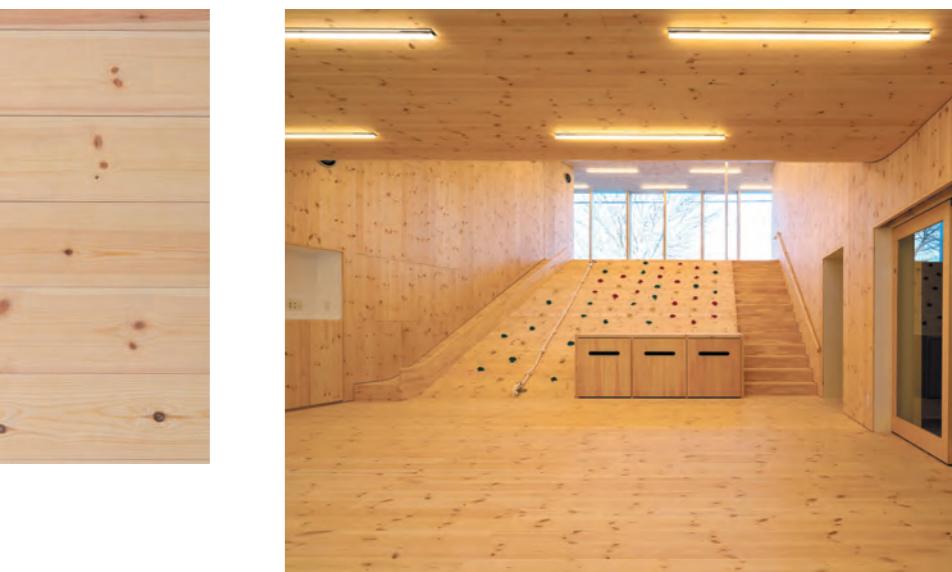
サイズ :

14×115×3830 mm

入数 :

10枚入り

| 4.40 m<sup>2</sup>入り / ケース



Siljan Pine

シリアンパイン | すみれチャイルド  
有限会社アトリエ慶野正司 | Photo : 藤本一貴

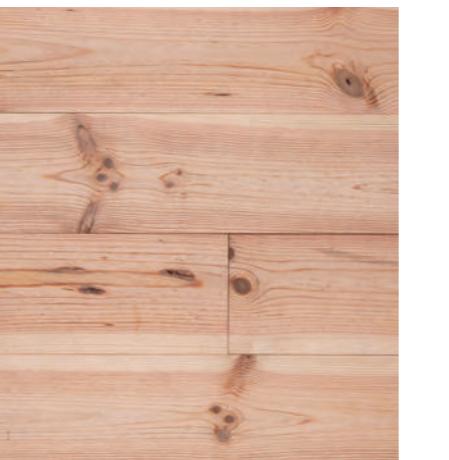


# Bordeaux Pine

ボルドーパイン

60

Bordeaux Pine



Bordeaux Pine

ボルドーパイン

節あり | 仕上げ : 未塗装品

サイズ : 21×200×2000mm

入数 : 2.0 m<sup>2</sup> / ケース

※プレーナー跡などが残るラフな表面仕上げです。

フランスのボルドー地方で育ったパインの床材です。

21mmもの厚みの床材が作れるのはパインという樹種ならでは。

無垢の迫力を楽しめください。



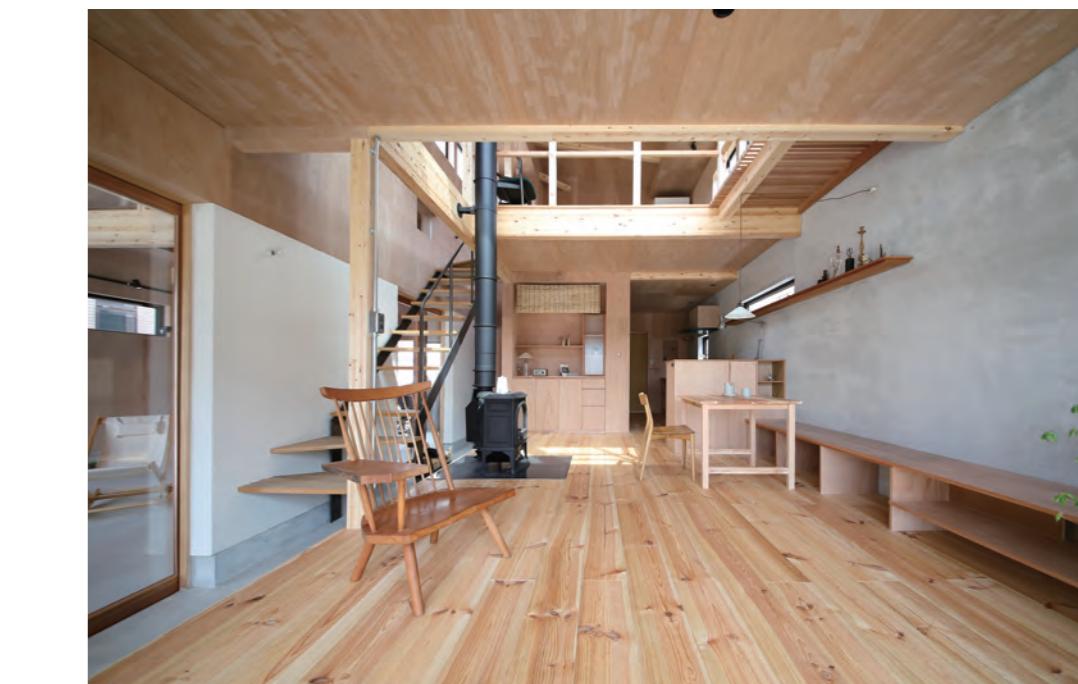
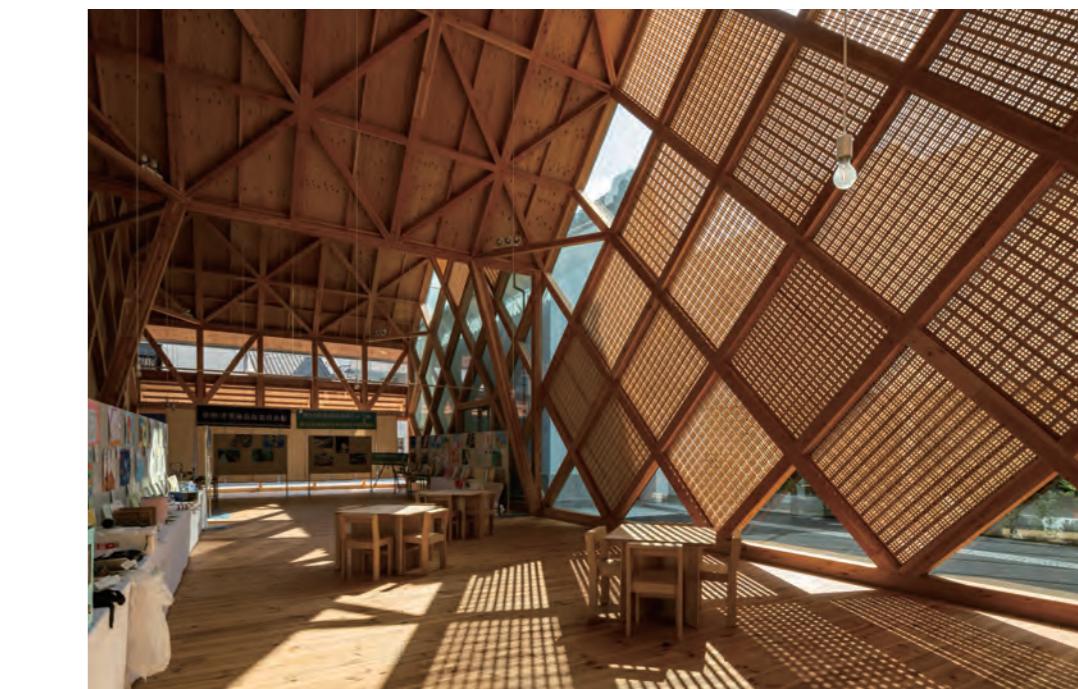
Bordeaux Pine

ボルドーパイン

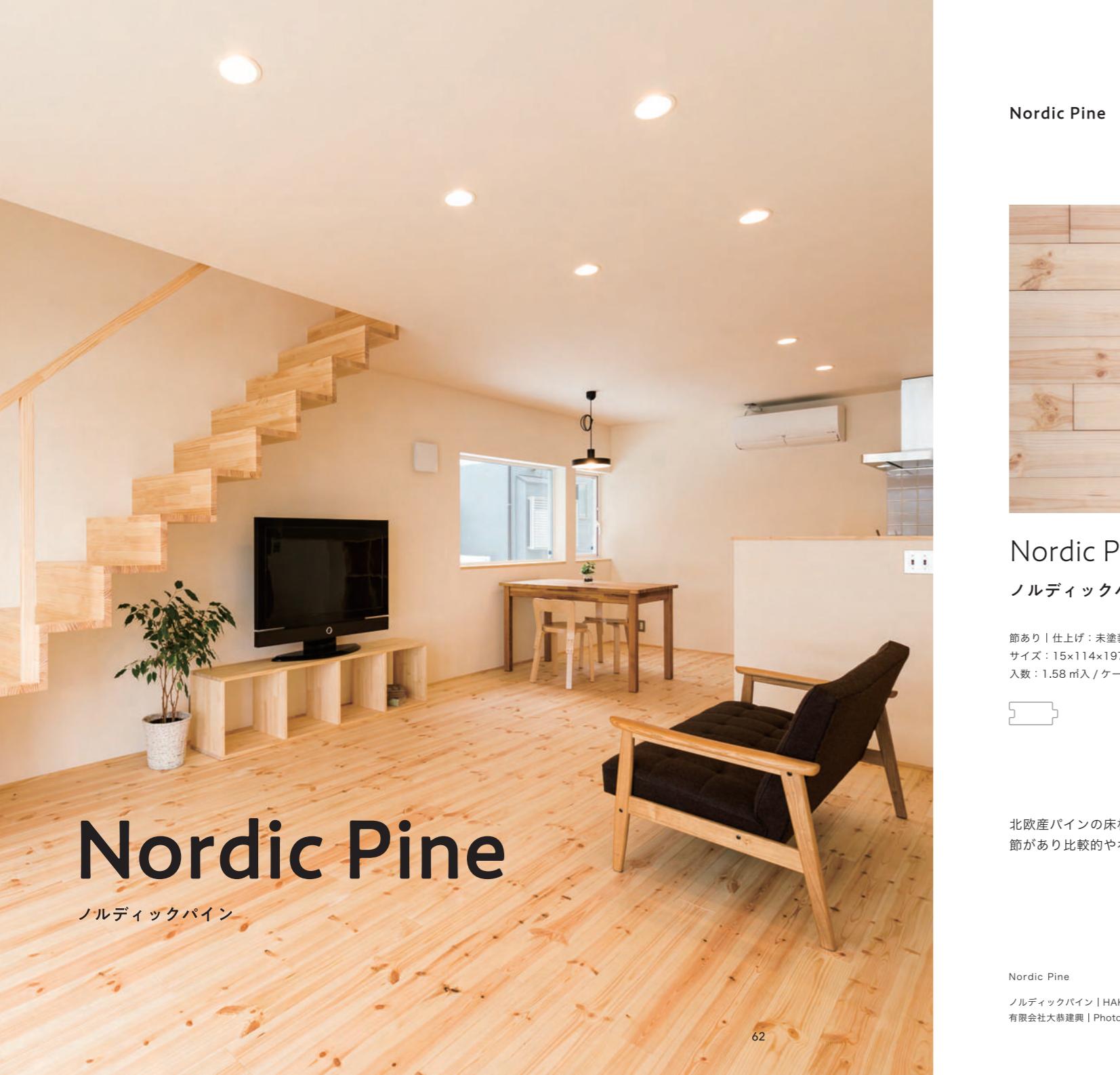
左 | 倉庫に住む! ? | 株式会社サトウ工務店 | Photo : 山岡 昌 (オフィスワイエス)

右上 | 富岡商工会議所 | 手塚建築研究所 | Photo : 木田勝久 / FOTOTECA

右下 | N-HOUSE | 株式会社 ZUIUN



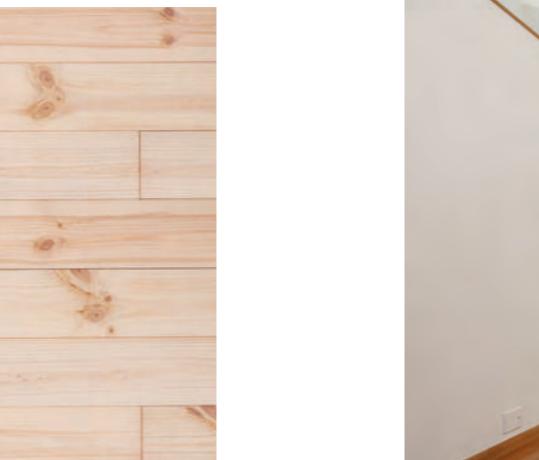
61



# Nordic Pine

ノルディックパイン

Nordic Pine



Nordic Pine

ノルディックパイン

節あり | 仕上げ：未塗装品  
サイズ：15x114x1977mm  
入数：1.58 m<sup>2</sup> / ケース



北欧産パインの床材です。

節があり比較的やわらかく、あたたかみのある床材です。

Nordic Pine

ノルディックパイン | HAKODAKE プロトタイプ  
有限会社大森建興 | Photo : 村井勇 (アトリエラボン)



Bruce



Bruce Natural

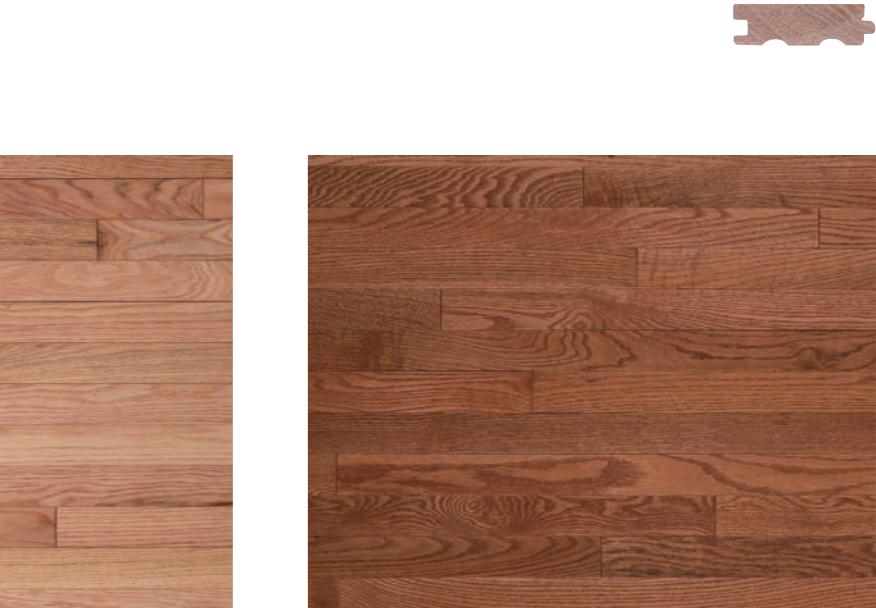
ブルースオーク ナチュラル

仕上げ：ウレタン仕上げ・4辺糸面取り  
サイズ：19x57x 乱尺（約200～1800）mm  
入数：1.86 m<sup>2</sup> / ケース



# Bruce

ブルース



Bruce Gunstock

ブルースオーク ガンストック

仕上げ：ウレタン仕上げ・4辺糸面取り  
サイズ：19x57x 乱尺（約200～1800）mm  
入数：1.86 m<sup>2</sup> / ケース



Bruce ブルース オーク | Y・O 様邸 | 設計：株式会社 カタチ創庫 | 施工：株式会社 新潟藤田組



# UENO JYUKEN

上野住宅建材株式会社

〒954-0111

新潟県見附市今町6-28-31

TEL. 0258-66-2520 FAX. 0258-66-2501

E-MAIL office@uenojuken.co.jp

URL <http://www.uenojuken.co.jp>

2019年4月発行

発行元：上野住宅建材株式会社

